

### ■ 「.jprs」創設の背景と理由

インターネットの急激な成長や発展は、ドメイン名やDNSを始めとする革新的なアイデアや、そのアイデアを実現するためのさまざまなテクノロジーによって支えられてきました。

また、インターネット自体が、実用化を前提とした新たなテクノロジーの試験導入や運用が容易にできる柔軟な環境であったことも成長や発展の大きな要素でした。

しかし、インターネットが重要な社会インフラとなるにつれ、新たなテクノロジーの導入に対する慎重な姿勢が目立ち始めました。そのため新しいテクノロジーの導入可否を判断するための試験導入や、実運用を前提とした十分な試験運用などが行いにくくなってきています。

インターネットの重心が研究からビジネスへと移り、わずかな停止も許されない状況においては、常に安全側を選ぶという意識が働くのも自然な成り行きかもしれません。

もちろん、サービスの安定は提供者にとっても利用者にとっても極めて重要です。しかし、「安定的なサービス提供」を理由として新しいテクノロジーの導入が進まない状態になると、インターネットを良くしようとする意欲の低下やインターネットそのものの発展の停滞につながります。

インターネットが柔軟性を維持しつつ成長を続けるためには、これまでのように積極的なイノベーションを生み出せる環境が必要なのです。

### ■ 社会貢献と研究開発支援を目的とする「.jprs」

「.jprs」は、ICANNによる新gTLDの募集に対して株式会社日本レジストリサービス(JPRS)が創設した、インターネットに関する研究や開発を主目的にしたTLDです。

インターネットに関する自律的な研究ができる環境を提供し、その運用を通じて得られた知見を広く役立てることを狙いとしています。

JPRSは、「.jprs」の運用を通じて得られた知見を「.jp」の開発にフィードバックし、より良いサービスの提供に役立てます。また、ドメイン名の認知向上、利用方法の啓発活動、インターネットコミュニティ全体への情報発信活動に活用することも予定しています。

「.jprs」は、JPRSが研究に用いるだけでなく、技術コミュニティ、学術系機関や指定事業者などのパートナーと共同で行う研究にも用いられます。既存のgTLDのように広く一般からの登録を受け付けるものではなく、JPRS自身が「.jprs」の唯一の登録者となります。

JPRSは、ネットワークの基盤を支える企業として、インターネットの発展に寄与し、人と社会の豊かな未来を築くことに貢献することを企業理念としています。「.jprs」は、JPRSが考える社会貢献と研究開発支援の一つの形です。

### ■ 「.jprs」がもたらすもの

JPRSは、「.jprs」を主として新しいテクノロジーやサービスを試す場として利用します。このような場合は、特に、複数の主体による協調が必要な場面で有効であると考えています。

例えば、DNSSECを導入したドメイン名の移転の際に、異なるレジストラ同士の協調が想定通りになるかどうか、あるいは、ドメイン名の登録数が数百万になった時にDNSへの負荷はどう変わるか、といったことが複数の主体による協調が求められる研究として考えられます。

協調を図りながら、新しいテクノロジーやサービスの研究が行える場の存在は、インターネットの発展に大きく寄与する、価値のあることと考えています。

また、「.jprs」の運用を通じて得られた知見を世界のインターネットコミュニティ全体と共有することで、ドメイン名の一層の安定運用に貢献します。

加えて、「.jprs」を通じたJPRSの活動は、「.jp」に対する評価と「.jp」自身の価値も同時に高めることにつながると考えています。

JPRSは、TLD「.jprs」を提供することで、新たなイノベーションを可能にする環境の構築とその提供を目指します。

「.jprs」レジストリオペレーターのWebサイト  
<<http://nic.jprs/>>

